



新年のごあいさつ

湯河原町長 富田 幸宏

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年中は、町政の推進につきまして温かいご支援と心のこもったご助言を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の五月に第七代湯河原町長に就任してから、早いもので八か月が過ぎようとしております。

その間、機会を頂戴し、町政運営について私の思いを「所信」として申し述べさせていただきました。私に課せられた喫緊の課題は、「行財政改革」と「財政再建」であるとして六つの施策を、そして、これと並行して五本の施策の柱からなる「ゆがわら元氣回復プラン」を掲げました。これらの施策の一部についてはすでに達成することができ、その他の項目についても、財政上の制約など一朝一夕にはいきませんが、その取組への方向づけの検討について一歩踏み出すことができたとはいえますが、

本年も皆様の声に耳を傾け、いただいたご期待を胸に、町のリーダーとして自ら先頭に立ち町政運営にあたってまいりますので、よろしく願っています。

当町は、社会経済構造の変化を背景とした税の減収や扶助費の増加、三位一体改革による地方交付税の減額などの影響を受け、財政状況は依然として厳しい状態が続いております。

このような中、議会のご理解をいただき、自らの給料を二十％削減するとともに、当分の間、副町長を置かないことといたしました。また、職員数についても、組織改革を図りながら、消防職、保育士等を除き、平成二十三年度までに十％の削減を目標として設定いたしました。

今後、さらに「第四次湯河原町行財政改革実施計画」を断行し、「財政の健全化」、「行政サービスの一層の向上」及び「町民参画と町民との協働」に努めてまいりますと考えております。

次に、町民の皆様からご支持いただきました「ゆがわら元氣回復プラン」の推進で

すが、第一の「子育ての応援プラン」では、少子化対策の一環として、町の宝でもあるお子さんに町として応援していきましようという気持ちから、三人目のお子さんがお生まれになったご家庭への給付金制度の創設を検討しております。

第二の「義務教育の応援プラン」では、地域の方々に教育現場に直接携わっていた

第三の「高齢者の応援プラン」では、高齢者を地域全体で支える仕組みづくりを構築し、生きがいづくりや社会参加の促進を図ってまいります。

第四の「活氣あふれるまちづくりの応援プラン」では、地産地消を推進し、地場産業の活性化と地域循環型産業の確立を図るための支援を検討いたします。

第五の「自然環境の保全と観光資源の有効活用プラン」では、湯河原の貴重な観光資源でもある素晴らしい自然環境を守り育て、湯河原の魅力向上を図ってまいります。また、町外の方々の視点で湯河原を客観的に分析し、観光資源の新たな活用方法を考え、湯河原の活性化を図るため、「(仮称)観光戦略会議」の開催をご提案いたしました。そのような中、昨年八月、国土交通省の「観光まちづくりコンサルティング事業」に湯河原町が重点支援地域として選定され、外部の専門家や旅行者などから構成する「アドバイザー会議」と地域の方々から構成する「ワーキンググループ」を設置し、魅力ある観光地づくりの推進に向け、ご意見、ご提案をいただいております。その結果につきましては、三月までにまとめられるものと思っております。今後の「湯河原にふさわしい観光戦略」を構築する上で活用してまいりたいと考えております。

今年、若さと干支のねずみのように素早い動きで「ゆがわら元氣回復プラン」を引き続き展開し、「安らぎと夢のあるまちづくり」の推進に全力で取り組んでまいります。本年も更なるご指導の程お願い申し上げます。

年頭に当たり、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。